

Miyoshi City News Release



令和6年12月5日

三次市不登校支援・相談ガイド(リーフレット)作成について

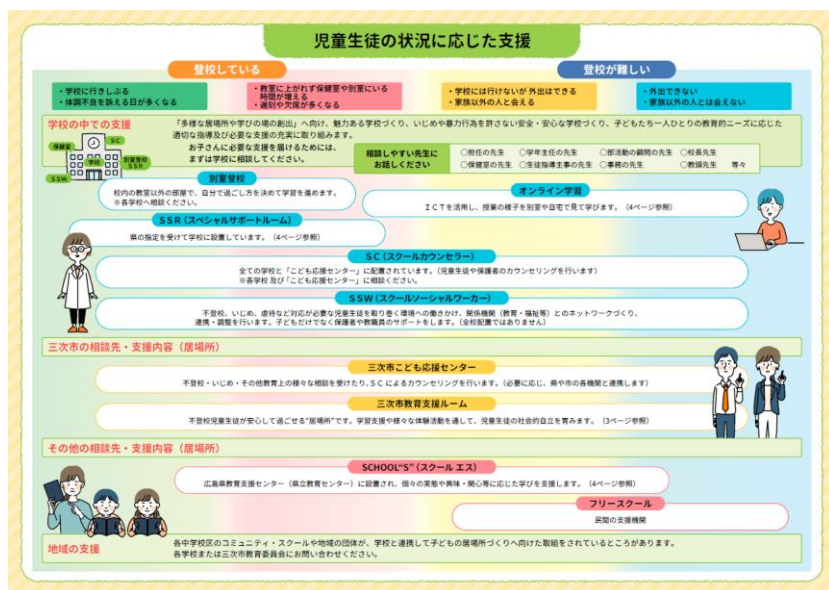
三次市では、全国、県と同様に、不登校児童生徒の増加を課題として捉えており、不登校支援の充実を図っているところです。

そこで、この度、別紙のとおり、三次市不登校支援・相談ガイド(リーフレット)を作成しました。

今後、このリーフレットを、関係機関に配付し、広く市民に対して、三次市の不登校支援について理解促進を図っていきます。



<表紙>



<児童生徒の状況に応じた支援>

※リーフレット一部抜粋



広島県三次市

教育部 学校教育課課 教育指導係 (担当:山本)

TEL:0824-62-6187 FAX:0824-62-6288

三次市



不登校支援・相談ガイド

～不登校や登校しぶり…
ひとりで悩まずご相談ください～



三次市教育委員会

児童生徒の状況に応じた支援

登校している

- ・学校に行きしぶる
- ・体調不良を訴える日が多くなる

- ・教室に上がれず保健室や別室にいる時間が増える
- ・遅刻や欠席が多くなる

登校が難しい

- ・学校には行けないが外出はできる
- ・家族以外の人と会える

- ・外出できない
- ・家族以外の人とは会えない

学校の中での支援



「多様な居場所や学びの場の創出」へ向け、魅力ある学校づくり、いじめや暴力行為を許さない安全・安心な学校づくり、子どもたち一人ひとりの教育的ニーズに応じた適切な指導及び必要な支援の充実に取り組みます。

お子さんに必要な支援を届けるためには、まずは学校に相談してください。

相談しやすい先生に
お話しください

- 担任の先生
- 学年主任の先生
- 部活動の顧問の先生
- 校長先生
- 保健室の先生
- 生徒指導主事の先生
- 事務の先生
- 教頭先生
- 等々

別室登校

校内の教室以外の部屋で、自分で過ごし方を決めて学習を進めます。
※各学校へ相談ください。

SSR (スペシャルサポートルーム)

県の指定を受けて学校に設置しています。(4ページ参照)



SC (スクールカウンセラー)

全ての学校と「こども応援センター」に配置されています。(児童生徒や保護者のカウンセリングを行います)
※各学校 及び「こども応援センター」に相談ください。

SSW (スクールソーシャルワーカー)

不登校、いじめ、虐待など対応が必要な児童生徒を取り巻く環境への働きかけ、関係機関(教育・福祉等)とのネットワークづくり、連携・調整を行います。子どもだけでなく保護者や教職員のサポートをします。(全校配置ではありません)

オンライン学習

ICTを活用し、授業の様子を別室や自宅で見学します。(4ページ参照)



三次市の相談先・支援内容(居場所)

三次市こども応援センター

不登校・いじめ・その他教育上の様々な相談を受けたり、SCによるカウンセリングを行います。(必要に応じ、県や市の各機関と連携します)

三次市教育支援ルーム

不登校児童生徒が安心して過ごせる“居場所”です。学習支援や様々な体験活動を通して、児童生徒の社会的自立を育みます。(3ページ参照)



その他の相談先・支援内容(居場所)

SCHOOL“S”(スクールエス)

広島県教育支援センター(県立教育センター)に設置され、個々の実態や興味・関心等に応じた学びを支援します。(4ページ参照)

フリースクール

民間の支援機関



地域の支援

各中学校区のコミュニティ・スクールや地域の団体が、学校と連携して子どもの居場所づくりへ向けた取組をされているところがあります。
各学校または三次市教育委員会にお問い合わせください。

居場所の 紹介Ⅰ

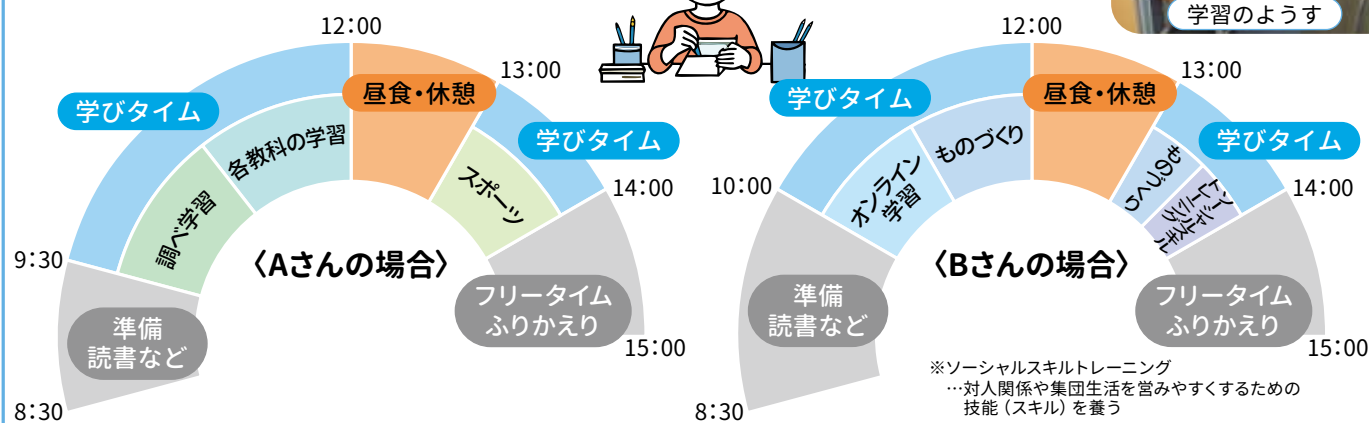
三次市教育支援ルーム

学校に登校しない、あるいはしたくともできない
児童生徒の社会的自立を支援します



学習のようす

教育支援ルームの一日



「学びタイム」の時間には、自分で課題を見つけて(選んで)自主的に学習します。

教育支援ルームでできること(学習の他に)

オンライン学びプログラム



体験活動・野外活動など

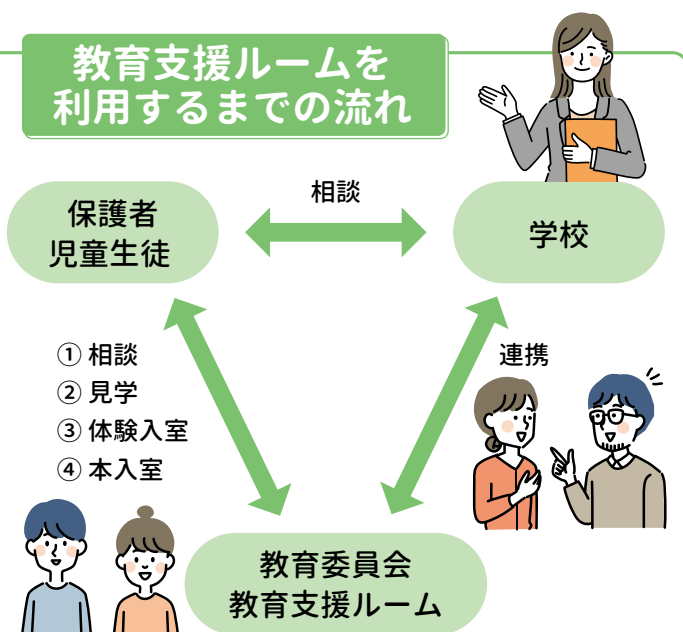


体験活動 さをり織り

趣味の活動 ふれ合い活動



教育支援ルームを 利用するまでの流れ



動物とのふれあい



ピザづくり



三次市では

多様な居場所や学びの場の創出 に取り組み 「家庭以外で誰ともつながっていない児童生徒の数」を「ゼロ」にする ことを目標にしています

みよし学びの共創プラン（三次市教育振興基本計画R6.3）
4 基本施策 （2）多様な居場所や学びの場の創出



居場所の 紹介Ⅱ

オンライン学習



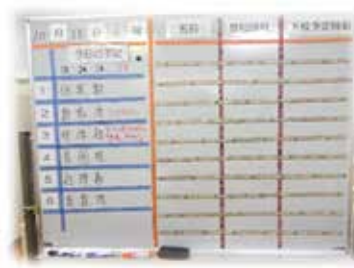
学校が配信する授業の様子等を、学校の別室や家庭に
いながら、タブレット端末で見て学ぶことができます。

SCHOOL“S”



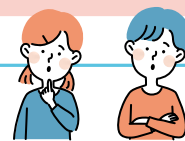
東広島市にある広島県教育支援センター「SCHOOL“S”」
来室、オンラインによる利用が自分で選択でき、併用も可能です。

SSR(スペシャルサポートルーム) 【県事業】 校内に設ける特別教室(別室登校) 【学校独自】



「スペシャルサポートルーム」(SSR) は、不登校を始め集団学習になじめない児童生徒が、学校とのつながりを途切れな
ようにするため、校内に居場所をつくる取組です。
SSR や別室登校の教室は、自らが学習内容を選択し、学んでいくスタイルです。また、パーテーションでエリアを区切るなど、
安心できる空間にしています。

Q&A



Q 学校には行きたいけれど、教室に入ることには抵抗が
あります。教室ではないところに登校できますか？

A 学校では、教室のほかにSSR（スペシャルサポートルーム）や教室以
外（別室）で学ぶことができるよう配慮しています。各学校の先生にご
相談ください。

Q 最近、子どもが学校へ行きたがらなくなりました。
どうしたらいいですか？

A まずは、担任の先生や保健室の先生など相談しやすい先生に相談してく
ださい。学校に相談しにくい場合は、こども応援センターや教育支援
ルームに連絡・相談してください。

Q 学校に通えておらず、今後の学習の遅れや進路が心
配です。オンラインで授業に参加は可能ですか？

A 各学校の先生にご相談ください。授業によってはオンラインで家庭と教
室をつなぐことができます。（自分の顔を出さない（画面オフ）で視聴
することもできます。）

Q 教育支援ルームを見学してみたいのですが、どこに
連絡すればいいですか？

A 学校に相談いただければ、日程等調整して連絡します。
また、直接教育支援ルームに連絡していただいても結構です。

Q 学校と学校外の居場所は、行ったり来たりできま
すか？

A 可能です。
お子さんの状況やご希望に合わせて、柔軟に選択可能です。

相談できる“つながり機関”

三次市・広島県 関係連絡先一覧

つながり機関	電話番号・FAX番号・所在地等
三次市教育委員会学校教育課	電 話：0824-62-6187 FAX：0824-62-6288 三次市十日市中二丁目8番1号 (三次市役所本館5F)
三次市こども応援センター	電 話：0824-65-0277 FAX：0824-62-6288 三次市十日市中二丁目8番1号 (三次市役所本館5F)
三次市教育支援ルーム (不定期ですが、保護者同士のつながりの場も 設けています)	電 話：0824-64-2226 FAX：0824-64-2226 三次市十日市東三丁目14番25号 (三次市生涯学習センター2F)
三次市スクールカウンセラー (三次市こども応援センター内) 【相談日：原則水・木曜日 要予約】	電 話：0824-65-0277 三次市十日市中二丁目8番1号 (三次市役所本館5F)
三次市こども家庭支援課 子育てに関する保護者の悩みや困りごとの相談を受けたり、 必要に応じて医療や福祉等の専門機関を紹介したり します。	電 話：0824-64-6011 FAX：0824-62-6300 三次市十日市中二丁目8番1号 (三次市役所東館2F)
学校における教育相談 〔教職員 SC (スクールカウンセラー) SSW (スクールソーシャルワーカー)〕	該当の学校にご連絡ください。
広島県北部こども家庭センター 児童虐待、非行、療育手帳の判定などの相談に応じます。	電 話：0824-63-5181 FAX：0824-63-9743 三次市十日市東四丁目6番1号 (広島県三次庁舎第1庁舎3F)
広島県教育支援センター SCHOOL “S” (スクールエス)	体験・見学・入室に関する問い合わせ 電 話：082-228-3500 不登校等の相談 電 話：082-428-7100 東広島市八本松南1-2-1 (広島県立教育センター内 特別支援教育棟2F)
広島県教育委員会ホームページ ホットライン教育ひろしま (各種相談窓口) いじめや不登校など児童生徒の悩みに関する相談窓口	https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/kyouiku/seitoshidou-soudankikan-index.html